

4624万円(61%) 増額

現場掘削で判明 土質改良工事を追加

●防災拠点施設1号調整池整備工事の請負契約の変更

本工事も、スケン谷地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設の一つで、局地的な出水を一時的に溜める調整池の整備。平成27年12月定例会にて議決され、本年11月30日

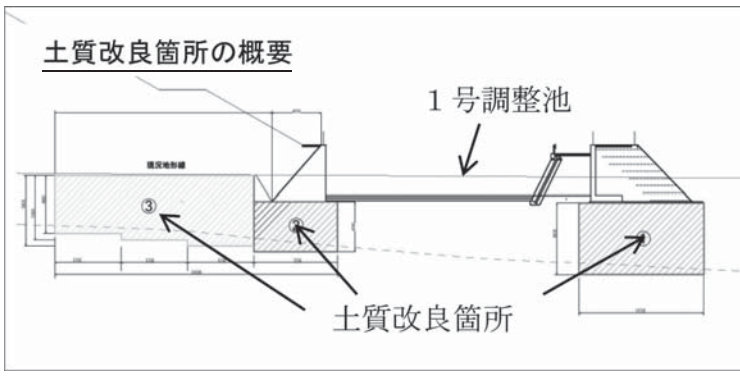
での工期で、酒井建設株が施工中のもの。

今回、工事による現場掘削で地盤の状態が悪かったため、土質改良工事を追加し、請負金額を4624万円増額するもの。

○請負金額

変更前 7560万円
変更後 1億2184万円

可決(多数)



Q 森 治史議員

今回、工事開始後に土質が分かったとのことで仕方ないが、事前に委託したボーリング調査でその辺もすべきではと考えるが。

A 金子 まちづくり課長

ボーリング調査は、この一帯の区域において14カ所で行

A 大西 町長

い、今回の調整池では2カ所で行った。しかし、岩盤までの深さを測る調査であったため、実際の工事で地盤を確認したところ、地盤改良が必要と判明し、変更の対応となった。



全体スケジュールの中では、新庁舎本体の建築工事に時間がかかるため、その建設用地造成の完了時期が大きなポイントになってい

Q 小永 正裕議員

これまでの若干の遅れは、全体の中で吸収できる範囲にあると考えている。

私の知る限りで、ボーリングで十分な調査ができていないのは3回目だ。事前調査をしっかりとやってないと、後で余分な費用(税金)も掛かるし、無駄も出る。そういう経験後に生かしていくシステムはないのか。なければ構築すべきと思うが。



1号調整池工事の現況。作業車奥側が防災広場予定地(7月1日撮影)

討論

反対 浅野 修一議員

防災広場造成工事の追加もだが、増額が大き過ぎる。これらは、計画の折に分かるべきだし、町民への説明責任もあると思う。

また、事前調査もずさんと思われるので、反対する。

賛成 森 治史議員

防災広場造成工事の追加もだが、いかなものかというぐらいの増額だが、認めないと新庁舎関連にかかわるので、やむを得ないものとして、以後、このようなことがないということで、賛成する。

A 金子 まちづくり課長

今後は、発注業務等、業者の方と密な連絡、協議を取りながら、このようなことがないように進めていきたい。